

ROSE

富士市発エンターテインメント情報誌 ロゼ
2024 Autumn Vol.129

TAKE
FREE
無料



INTERVIEW

シエナ・ウインド・オーケストラ
サクソフォン奏者

榮村正吾

ROSE

富士市文化会館ロゼシアター 「情報誌ロゼ」 2024年9月発行(第129号・秋号)
■発行/公益財団法人富士市文化振興財団 〒416-0953 静岡県富士市藤原町1750番地 TEL:0545-60-2510 ■企画・編集・制作/公益財団法人富士市文化振興財団 タムラデザイン



榮村正吾 / サクソフォン

Shogo Sakaemura / Saxophone

安宅賞を得て東京藝術大学を卒業後、アサヒビール文化財団の助成を受けフランスへ留学。セルジー・ポントワーズ音楽院を首席で卒業後演奏科を経て帰国。東京文化会館でのリサイタルでデビュー。

サクソフォンを佐藤典夫、故大室勇一、富岡和男、須川展也、ジャン=イブ・フルモーの各氏に師事。現在昭和音楽大学、同短期大学、東京藝術大学各講師

シエナ・ウインド・オーケストラ

1990年に吹奏楽の可能性を追求すべく結成されたプロのウインド・オーケストラ。現在、文京シビックホールを拠点に演奏活動を展開しており、定期演奏会のほか文化庁学校巡回公演等の青少年育成事業への出演や吹奏楽クリニック等、年間100回を超える事業を展開している。2002年には首席指揮者に佐渡裕を迎え、毎年全国ツアーを展開するほか、最近では飯森範親、宮川彬良、青島広志など多彩な指揮者を客演に迎え、幅広いレパートリーを生かした活動を広げている。2017年には狭間美帆をコンポーザー・イン・レジデンスに迎え、吹奏楽作品の普及にも積極的に取り組んでいる。2010年10月から東京都文京区および文京シビックホールとの事業提携を皮切りに、公益財団法人富士市文化振興財団ほか現在までに9団体と事業提携を結び、これまでの幅広い演奏活動とともに地域や教育機関と密着した活動も積極的に展開している。

「三者協定」

2018年に一般財団法人ジャパン・シンフォニック・ウインズ(シエナ・ウインド・オーケストラ)、富士市、公益財団法人富士市文化振興財団にて富士市の文化発展のため、事業協定を締結。これまでに「指導者派遣」「アンサンブル・ワークショップ」など市内の学生を対象とした事業を多数実施している。

「中学生招待コンサート」

富士市内公立中学校の2年生をロゼシアターのホールへ招き、本格的なコンサートを鑑賞、体験する事業。1994年以来毎年実施し、2016年からシエナ・ウインド・オーケストラが演奏を務める。

「小学校学校コンサート」

富士市内の小中学校を3年間で一巡する事業。体育館にて全校児童を対象に、授業では味わえないコンサートを届ける出張事業。2024年からの3年を、シエナ・ウインド・オーケストラメンバーによる『サクソフォン四重奏』が巡回予定。

※本催事は学校行事のため一般観覧はできません。

ロゼシアター

on demand

ロゼシアターのさまざまな情報をデジタルコンテンツでお届け！最新情報の一部をご紹介します。

～YouTube Vol.11～

2020年にスタートしたYouTube「ロゼシアターチャンネル」では、現在約140本の動画を公開しています。ロゼシアターの主催する市民ミュージカルのほか、市民演奏家によるコンサートやアウトリーチ事業の様子などをお届けしています。

新進アーティスト作品展vol.22



「新進アーティスト作品展」は、静岡県出身及び在住、在学、在勤の18歳から35歳を対象とした美術の公募展です。2024年3月2日から10日にかけて開催した作品展の様をお楽しみください。

同時開催の「高校生の部」、vol.21で優秀賞を受賞した平尾早希氏による作品展「窓」も公開中です！

「新進アーティスト作品展 vol.23 2025」2025年1月より作品募集!!



チャンネル登録お願いします!!
YouTube「ロゼシアターチャンネル」





ことを克服していくための努力はしました。でも学生時代からとにかく楽しくて、四六時中吹いている生活でした。

中高生の皆さんにはなによりまず楽器を、音楽を好きであってほしいなと思います。そして好きな音楽を聴いた時に「これはこんな風に演奏しているのか」と真似てみたり、部活動の課題曲だけではなく自分で見つけた譜面にも友達と挑戦してほしいなと。高校生の時に友達と、クラシカルなものからポップスまで興味のあるものはなんでもやってみた事が今も活きてます。

色々な曲に挑戦してみて「これだと指が動かないからこうした方がいいかな」などと自分の工夫をしたり、うまくいかなかった原因を考えてみるという積み重ねが大切。教えられたものというのは意外に覚えていない(笑)自分から何かをするというのが大事なかな。今、吹奏楽部に入っている方は部活動以外の曲を練習する時間もなく大変かもしれないけれど、挑戦してみしてほしいです。

榮村さんにとって音楽の魅力とは。

好きで始めたことも、真剣に取り組まないとつまらなくなります。ぜひ真剣に楽しんでほしい。本気で遊ぶ、楽器演奏はこの追及だと思えます。

それから、コンサートホールでの演奏はお客様がいて演奏する僕らがいる、そこに音がある。それを皆で共有したと感じられる瞬間が、凄くいいなと。



普段の生活とはちょっと違う自分になれるというのがあります。僕は普段人見知りですが、ステージに立つと盛り上げるパフォーマンスもたくさんします。役者さんと同じですね。それもまた魅力です。自分の「中々」を表現したときに帰ってくる反応を感じられるときに楽しいですね。

十二月にはホールでの演奏会も予定しています。富士市の皆さんにメッセージをお願いします。

十一月のコンサートは人気のアニメ曲や映画音楽などを沢山取り上げます。クラシカルな曲とは違う楽しみがあると思います。今回は

シエナ・ウインド・オーケストラ、富士市、公益財団法人富士市文化振興財団は二〇一八年から三者協定を締結し、演奏会をはじめ、指導者派遣やワークショップなど幅広い事業を展開しています。

今回は、富士市内の小学校に出向く「小学校学校コンサート」に出演されるサクソフォン四重奏のメンバー、榮村正吾さんにお話を伺いました。

榮村さんはロゼシアターの事業に多数ご出演いただいています。富士市の印象を教えてください。

新幹線を降りて陸橋(蓼原大橋)を渡る時、富士山がすごく大きく見えて景色がいいなと思っています。魚もおいしくて、よくお店に食べに行っています。

「中学生招待コンサート」にも出演しているのですが、富士市の生徒さんはいい子が多い。でもそれはノリが悪いという意味ではなく、まじめに聴いてくれるなという印象で、楽しくコンサートをしています。

今回小学校で演奏されるサクソフォン四重奏の聴き所を教えてください。

ホールとは違って子どもたちと距離がすごく近いので、息遣いや空気感、奏者が一生懸命演奏している様子、ちょっと離れているとわか

らないところなどを感じてください。知っている曲があれば、音楽にノって楽しんでもらうと演奏者もより楽しくなります。子どもたちと一緒にの空気、一体感を作れたらうれしいなと思います。

サクソフォン四重奏は同じ形状で音の高低が違う楽器のアンサンブルなので、ひとつの楽器のように音をならすこともできるし、その逆も。表現の幅が多彩で大きく、機動性がよい。ポップスやジャズ、色々なスタイルの曲が可能です。演奏を聴いたら最初は音の大きさに驚くかもしれない、その驚きを楽しんでほしい。音を身近に感じる、そんな演奏を四重奏でできればと思います。

演奏会を機に興味を持つ児童・生徒さんもいると思います。楽器選びのポイントなどありますか？

僕の場合は自分で選んだわけではなく、与えられた楽器がたまたまサクソフォンだったので、途中色々な楽器も経験しつつ、またサクソフォンに帰ってきました。始めた最初は当然音も出ないけれど、だんだん吹けるようになる楽しくなって。音がよく、自分自身がはまった感じがありました。

学生時代、演奏練習で苦労したこと・克服したエピソードなど教えてください。

苦労を感じたことはあまりないです。もちろんプロを目指すようになってから、できない



ステージで一緒に演奏する中学生・高校生を募集するので、彼らには僕らの隣でその音も聞いてほしい。もしくは、友達がステージに上がる姿を見に来てもらいたい。もちろん座席に座って聞いているだけでも十分楽しめる演奏会になると思います。

最近はスマートフォンなどでしか音楽を聴かない方も増えていると思います。当然、生の演奏は違いますので、この機会にぜひ足を運んでいただき、一緒に楽しんでほしいです。

ありがとうございました。

取材・文／渡井理恵
撮影／長橋睦

公演情報
『シエナ・ウインド・オーケストラ演奏会』
2024年11月24日(日) 開場15:00 開演15:30
ロゼシアター大ホール
入場料(全席指定・税込)
一般:4,400円 U18(高校生以下):550円
※未就学児入場不可
チケット発売中

PICK UP ARTIST

アウトリーチ事業

おでかけロゼシアター

アウトリーチとは、劇場や美術館などが館外で行う芸術活動です。ロゼシアターでは、これまで小学校へ出向く「小学校学校コンサート」や「おでかけ芸術教室」、ステージのある市内公共施設にて行う「おでかけミュージカル」など様々なアウトリーチ事業を行ってきました。中でも、音楽家が市内のまちづくりセンターに出向くコンサートは、地元で根差した芸術の場として好評を得ています。



以前のコンサートの様子



以前のコンサートの様子

今年度は、ロゼシアターまで足を運ぶことが難しい方や小さなお子様など、老若男女問わず、より気軽に音楽を楽しめる場となるよう「おでかけロゼシアター」に名称を改め、多くの方が楽しめる企画としました。今回のコンサートは、県内出身の音楽家を招き、楽しい演奏をお届けいたします。ぜひお気軽にお近くのまちづくりセンターにご来場ください。

今年のまちづくりセンターでのコンサートの様子はYou Tubeでご覧いただけます。
コミュニティまちづくりコンサート
讚美歌メドレー
讚美歌メドレー

【特集】スペシャル・インタビュー

加藤和樹

KAZUKI KATO



二〇二二年に各地で大好評を博した演劇公演『裸足で散歩』が今回富士市ロゼシアターでも上演されます。公演の前に、主人公のポールを演じる加藤和樹さんに話を伺いました。

再演が決まった感想からお願いします。

この作品はとても楽しくてハートフルで、我々演者自身もパワーをもらっていました。だから、初演のときからもっと多くの方に届けられたらなという思いがあった。再演が決まったときは本当に嬉しかったです。

物語の舞台は一九六〇年代の二月のニューヨーク。加藤さんが演じられるポールとコリー（高田夏帆）の新婚夫婦がエレベーターも暖房もない古いアパートの最上階に住み始め、その生活を楽

しむコリーと馴染めないポールの姿が笑いととも描かれます。中でも魅力的だと思われたのはどんな部分でしょうか。

考え方の違うポールとコリーのすれ違いが描かれていく中で、相手の話を聞いてちゃんと受け入れたほうがいいよねとか、人に優しくしたいねという、人間にとつてあたりまえに大切なことが伝わってくるんです。それも、コメディだから柔らかくわかりやすく。この作品の世界観に没入して、スムーズに笑ってもらえるように、最上階まで昇ってくる大変さに説得力を持たせないといけないなど、大変さはありますけど、とにかく演じていて楽しい。もともと面白いニール・サイモンの戯曲を自分たちがどうやら面白くしていくか稽古でまたいろいろ発見しながら、みんなで作っていきたくて思っています。

共演者も魅力的ですね。

初演の本番では、松尾貴史さんと戸田恵子さんのアドリブに必死で笑いをこらえていました(笑)。何が起るかわからないのが舞台の面白さですし、とくにコメディの部分は、自由すぎる先輩方に置いていかれないようにしていきたいと思っています。

富士市での公演に向けての意気込みをお願いします。

十年ほど前に三年続けて富士山に登ったことがあります。表現者として Teppan を取りたいという願をかけて、するとミュージカル作品の主演を務めさせていただけのようになった。今回もその富士のパワーを受けてこの作品が皆さんに届くように頑張りますので、ぜひ足を運んでいただければ嬉しいです。

取材・文／大内弓子
撮影／宮川舞子



撮影／岡千里



エレベーターも暖房も無いアパートの部屋。寒い部屋も2人の愛で温くなるはずだったが…愛は思わぬ方向へ。ニール・サイモンの傑作コメディ

裸足で散歩

チケット(全席指定・税込) 均一 6,800円
※未就学児入場不可

チケット発売中

2024年10月5日(土) 開場13:30 開演14:00
ロゼシアター中ホール

- キャスト：加藤和樹・高田夏帆・福本伸一・松尾貴史・戸田恵子
- スタッフ：作／ニール・サイモン
翻訳／福田響志 演出／元吉庸泰
- 主催：シーエイティブロデュース
- 共催：公益財団法人富士市文化振興財団／テレビ静岡

【公演情報】

おでかけロゼシアターinまちづくりセンター

小さなお子様からシニアの方までどなたでもご来場ください。

令和6年11月16日(土) 入場料無料

【午前の部】

会場：富士駅南まちづくりセンター(富士市横割1丁目4-15)
小木の里ホール 定員140人
開場10:45 開演11:00

【午後の部】

会場：青葉台まちづくりセンター(富士市一色288-4)
多目的室 定員140人
開場14:15 開演14:30



※午前・午後の会場ともに駐車場には限りがあります。乗り合わせもしくは公共交通機関・徒歩にてのご来場にご協力ください。

【出演アーティスト】

アンサンブル団体 EurekaBrass エウレカブラス

金管アンサンブルをやりたいという意思の元、集まったメンバーで構成された市民アンサンブル団体。富士川を拠点に月2回のペースで活動中。



鈴木美結
トランペット奏者
アンサンブル団体EurekaBrass代表
静岡フィルハーモニー管弦楽団団員



鈴木智拓
トランペット奏者
アンサンブル団体EurekaBrass所属
現在、尚美ディプロマに在籍



天野育美
ユーフォニアム奏者
アンサンブル団体EurekaBrass所属
富士交響吹奏楽団団員

EVENT SCHEDULE

2024~2025

イベントスケジュール 2024年~2025年
ロゼシアター主催・共催事業のご案内

12月

フィルハーモニクス ウィーン=ベルリン

日時: 12月10日(火) 開場18:30 開演19:00
会場: 大ホール
入場料: (全席指定・税込)
一般 7,700円
学生 3,300円
※未就学児入場不可

発売日
WEB: 9月19日(木)
窓口: 9月20日(金)



©Max Parovsky

1月

ニューイヤー・コンサート2025 ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団 ~ヨハン・シュトラウスII世生誕200年記念特別プログラム~

日時: 2025年 1月7日(火) 開場18:20 開演19:00
会場: 大ホール
入場料: (全席指定・税込)
S席 12,000円
A席 10,000円
B席 8,000円
※未就学児入場不可

発売日
WEB: 9月21日(土)
窓口: 9月24日(火)



撮影: 池上直哉
提供: サンドリーホール

共

1月

富士山静岡交響楽団 新春富士ニューイヤーコンサート

日時: 2025年 1月26日(日) 開場13:30 開演14:30
会場: 大ホール
入場料: (全席指定・税込)
一般 2,000円
高校生以下 1,000円
※当日500円増(一般席のみ)
※未就学児入場不可

発売日
WEB: 10月25日(金)
窓口: 10月28日(月)



高関健 (指揮)

奥井紫麻 (ピアノ)

共

1月

三枝成彰のレクチャーコンサート クラシックは凄い! Vol.3

日時: 2025年 1月31日(金) 開場18:30 開演19:00
会場: 小ホール
入場料: (全席指定・税込)
均一 2,500円
※未就学児入場不可

発売日
WEB・窓口
11月15日(金)



WEB購入手順

- 1 ロゼシアターホームページ <https://rose-theatre.jp> (24時間対応)
 - 2 「ロゼフレンドシップ」へログイン ※「ロゼフレンドシップ」への登録が必要です
 - 3 公演・座席選択 「座席指定して予約」より座席を選択可能
 - 4 支払方法・チケット引取方法 選択 クレジットカード決済 ▶ 会館窓口またはセブンイレブン店頭引取が選択可
セブンイレブン支払 ▶ セブンイレブン店頭でチケット引取
- ※車いす席はロゼシアターへお問い合わせください ※発売初日は10:00からの販売となります ※「学生券」は25歳以下の学生が対象です ※購入後の変更・キャンセルはできません

10月

裸足で散歩

日時: 10月5日(土) 開場13:30 開演14:00
会場: 中ホール
入場料: (全席指定・税込)
均一 6,800円
※未就学児入場不可

共

発売中



11月

劇団四季ミュージカル 『ジーザス・クライスト=スーパースター』 [エルサレム・バージョン]

日時: 11月9日(土) 開場17:15 開演18:00
会場: 大ホール
入場料: (全席指定・税込)
S席 10,000円
A席 8,000円
B席 5,000円
※3歳以上有料、3歳未満入場不可

発売中



撮影: 堀勝志古

11月

おでかけロゼシアター in まちづくりセンター

日時: 11月16日(土)
会場: 【午前】開演11:00 富士駅南まちづくりセンター
【午後】開演14:30 青葉台まちづくりセンター
※開場は開演の15分前
入場無料(予約不要)



前回の様子

11月

シエナ・ウインド・オーケストラ 演奏会

日時: 11月24日(日) 開場15:00 開演15:30
会場: 大ホール
入場料: (全席指定・税込)
一般 4,400円
U18(高校生以下) 550円
※未就学児入場不可

発売中



©Chigusa Takashima

劇団四季ミュージカルの原点。時を経ても輝き続ける魂の舞台。

JESUS CHRIST SUPERSTAR

ジーザス・クライスト=スーパースター
[エルサレム・バージョン]

この作品は、イエス・キリスト(ジーザス・クライスト)が十字架にかけられるまでの最後の7日間を描いたミュージカルである。イエス・キリストを一人の苦悩する若者として赤裸々に描いた、衝撃のロックオペラ。その核心に迫る、濃密な人間ドラマ、心の叫びを劇団四季の俳優たちがお届けします。

公演情報

11月9日

17:15開場 18:00開演

ロゼシアター大ホール

チケット(全席指定・税込)

S席 10,000円

A席 8,000円

B席 5,000円

※3歳未満入場不可、
3歳以上有料(膝上観劇不可)

チケット発売中

人物紹介

ジーザス・クライスト

ローマ帝国領ガリラヤの地より宣教活動を始め、群衆に「神の子」「救世主」と崇められる。しかし、その圧倒的なカリスマ性を恐れた今の偽政者によって捕えられてしまう。



撮影：上原タカシ

イスカリオテのユダ

ジーザスの弟子。十二使徒の一人。師ジーザスを愛し、誰よりも理解する人物。ジーザスに寄せる群衆の過大な期待・政権からの圧力が、やがてジーザスの命を脅かすことを懸念し苦悩する。



撮影：荒井健

マグダラのマリア

マグダラの出身の娼婦。ジーザスに愛を抱き、香油や冷たい水で癒す。



カヤパ、アンナス

エルサレムで権力をふるうユダヤ教の大祭司。ジーザスがユダヤの王となり政権を奪われることを恐れ、ジーザスをとらえる。

ピラト

ローマ帝国の総督。ガリラヤの実権を握っている。カヤパから引き渡されたジーザスに罪を見出せず一度はヘロデの元へ送るが、司祭や群衆の声に押されジーザスの処刑を決定する。

ヘロデ王

ガリラヤの国主。ピラトから送られてきたジーザスに興味を示し、尋問を行う。

ペテロ、シモン ジーザスの弟子

群衆

ユダヤ教・ローマ帝国・ヘロデ王の「3重の支配」に苦しむ。その中で現れたジーザスを「神の子」と崇め救いを期待するが、その過大な期待が次第にジーザスへの不満へと変化していく。

あらすじ

舞台はローマ帝国領パレスチナ。ユダヤの王ヘロデ、実権を握るローマ人総督のピラト、さらにエルサレムで権力をふるうユダヤ教大祭司のカヤパによる三重の支配のため、民衆は苦しい生活を強いられていた。救世主を待ち望むユダヤの民の前に、彗星のごとく「ジーザス」という一人の青年が現れる。新しい教えを説くジーザスの言葉に人々は目を輝かせ、彼こそ救世主＝神の子だと讃えるが、その一方で民衆の過度な期待がジーザスに重くのしかかっていく。ジーザスの高まる人気におののいたカヤパたちにより、やがて彼を弾圧しようとする動きが目立ち始める。弟子たちは動揺を隠せない。そんな中、待ち受ける自身の運命を知りながら、ジーザスはエルサレムに入城することを決意。

ジーザスの使徒のひとりであるイスカリオテのユダは、ジーザスを想い、ある決心をする。群衆の心の動き、権力者たちの思惑、ジーザスを取り巻く者たちの苦悩―大きな渦に飲み込まれ、ジーザスの運命は十字架へと一歩ずつ近づいていく。

◇エルサレム・バージョンとは？

大胆なまでにあらゆる装飾を削り取った荒野が舞台。エルサレムとはイエス・キリストが十字架にかけられた場所である。乾燥した日差しの強い、砂漠地帯のエルサレムの荒野を急傾斜の舞台で再現。(これとは別にジャポネスク・バージョンがある)

◇本公演の魅力

『エビータ』『キャッツ』『オペラ座の怪人』など、数多くの作品の作曲を手掛けるアンドリュー・ロイド＝ウェバーが、ミュージカル界のトップクリエイターへと駆け上がるきっかけとなった作品が『ジーザス・クライスト＝スーパースター』です。物語をけん引する全23曲は、激しいアップテンポの曲から美しく切ないバラードまで、実に多様かつ珠玉のナンバーが揃っており、一部の隙もなく観客を舞台へと惹きこみます。



撮影：上原タカシ

音楽の街物語〜音楽都市ベルリン



1850年のベルリン国立歌劇場

プロイセンの帝都となった十八世紀から、ヨーロッパの主要都市として躍進したベルリン。二十世紀に出現したワイマール共和国が理想とした自由と文明、芸術、文学の都。栄光と繁栄の影にナチス・ドイツの狂気に彩られた街。ベルリンはまさに歴史の記憶を刻んだ都市なのです。今回は音楽都市ベルリンの小さな物語です。

「文化・魂・自由・芸術」の国ドイツ

「文化や政治についてドイツで語ろうとする人は、音楽について語らなければならぬ」。これは、ドイツの文学者トーマス・マンの言葉です。かつてのドイツは、「文明・帝国・工業・文学」の国ではなく、「文化・魂・自由・芸術」の国であり、何よりも音楽の国だったと彼は語ります。なかでもドイツを代表する音楽都市としてめまぐるしい発展を遂げたのが、ドイツ最大の都市ベルリンです。その最初の伝統的なシンボルは、音楽をこよなく愛したフリードリヒ大王(在位一七四〇〜一七八六)が宮廷歌劇場として創設し、一七四二年に完成したベルリン王立歌劇場でした。

ベルリンの誕生と発展

都市としてのベルリンの起源は、二六〇年頃、ブランデンブルク辺境伯アルブレヒトが、この地域を開拓し始めたことにはじまるといわれます。「ベルリン」という言葉は、「水辺の乾いた場所」を意味するスラブ語に由来します。すべての商業都市を結ぶシュペレー川のおだやかな岸辺が、この街の発展には欠かせないものでした。そして都市は急速に拡大し、一七〇一年にフリードリヒ二世によるプロイセン王国の建国とともにその首都となり、十九世紀には機械工場、繊維工場などの建設で工業の中心地としても栄えます。



ブランデンブルク門(現在)

ブランデンブルク門 〜歴史のランドマーク

なかでも、かつての辺境伯国に由来するブランデンブルク門は、多くの歴史的イベントの舞台となりました。第二次世界大戦前夜の一九三三年一月三十日には、ドイツの首相に任命されたヒトラーを祝うナチス党員の大行進が行われ、戦後、ベルリンの壁が建設されると、この門は東ベルリンと西ベルリンの境界線上に位置し、東西ベ



1933年1月30日のブランデンブルク門

ルリンの分断の象徴となりました。現在では、ドイツ統一の象徴として、ベルリンを代表するランドマークのひとつです。

本を燃やせ！ 〜ナチスによる焚書

音楽都市ベルリンの象徴でもあるオペラ広場が炎に包まれたこともあり、一九三三年五月、ナチスによるユダヤ人排斥運動のひとつとして、ユダヤ人作家・学者の書籍約二万五千冊が焼き払われたのです。焚書となったのは、ブレヒト、アインシュタイン、ヘミングウェイ、トーマス・マンなど同時代の優れた知的遺産。五月十日に行われたナチスの宣伝相ゲッベルズによる「炎の演説」では、「諸君は、真夜中の時間



ナチスによる焚書 1933年5月

に過去の空疎なものを火に投じるといふ善きことを行っているのだ。これは強く、大きく、象徴的な行為なのだ！」と叫ばれました。現在、この焚書が行われた場所にある記念碑では、地面に埋め込まれたガラス越しに、地下の図書館のような場所に置かれた空っぽの書棚をみるができます。



1882年10月17日ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団としての最初のプログラム

世界最高峰のオーケストラを生んだ街

クラシック音楽ファンにはおなじみの世界最高峰のオーケストラ、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団は、さまざまな歴史を刻むこの音楽都市でなければ誕生しなかったオーケストラです。ブラームス、ドヴォルザーク、マーラー、グリーグなど大作曲家たちも指揮したこのオーケストラは、一八八二年春、ベルリンを拠点に活動していたベンジャミン・ビルゼ楽団という、いわば酒場楽団から脱退した五十四人の音楽家たちによって結成されました。どんな困難なときも運命をともしようと誓い合った彼らが目指したのは、たんなる演奏団体ではなく、オーケストラという芸術共同体の自治という理念でした。度重なる戦禍や独裁者による支配などさまざまな試練がオーケストラを襲いますが、幾多の危機を乗り越えて、芸術的に最高の演奏という義務を自らに課した「フィ



ベルリン・フィルハーモニーホール

ルハーモニーカー」という肩書きを持つ団員たちによって、いまも誇り高き「ベルリン」の名を冠した世界最高峰のオーケストラとしての地位を揺るぎないものになっています。

主な参考文献
『ベルリン 〈記憶の場所〉を辿る旅』 アンドレーア・シュタインガルト著、谷口健治ほか訳、昭和堂
『言語都市・ベルリン1861-1945』和田博文ほか著、藤原書店
『ベルリン・フィル物語』ウエルナー・エールマン著、福原信夫訳、立風書房
Dictionnaire Encyclopédique de la Musique, Université d'Oxford/Robert Laffont

浦久俊彦 (うらひさ としひこ)
文筆家、文化芸術プロデューサー。一般財団法人欧州日本芸術財団代表理事、代官山未来音楽塾塾頭、愛知県教育委員会教育アドバイザー。2021年3月、サラマンカホール音楽監督として企画した『ぎふ未来音楽展2020』が、サントリー芸術財団第20回佐治敬三賞を受賞した。著書に『138億年の音楽史』(講談社)、『フランク・リストはなぜ女たちを失神させたのか』『悪魔と呼ばれたヴァイオリニスト』『ベートーヴェンと日本人』(以上、新潮社)、『オーケストラに未来はあるか(指揮者・山田和樹との共著)』(アルテスパブリッシング)など。最新刊は『リベラルアーツ〜「遊び」を極めて賢者になる』(集英社インターナショナル)。

INFORMATION from ROSÉ THEATRE

Pick up vol.4 レセプションホール

多彩なイベントに対応し、心に残るひとときを

ロゼシアター3階にあるレセプションホールは、懇親会や忘年会、同窓会など、食事を伴うイベントにご活用いただけます。富士山の眺望と極上の料理で、心に残るひとときをお楽しみください。経験豊富なスタッフがおお客様のご要望に寄り添い、イベントをサポートいたします。



ふじ・紙のアートミュージアム

第16回 紙のアートフェスティバル 菊地 絢女展

観覧無料

開催期間:10月1日(火)~12月8日(日)
開館時間:10:00~18:00

休館日
10月7日(月)、11月11日(月)・12日(火)
ロゼシアター休館日に休館

□日程など変更する場合がございます。
□最新情報はウェブサイトまたはFacebookをご参照ください。

ふじ・紙のアートミュージアム

〒416-0953 静岡県富士市夢原町1750番地 富士市文化会館ロゼシアター内(1階東側奥)
TEL 0545-32-6581 FAX 0545-32-6582 <https://www.fuji-paperart.jp>



プレゼントのご案内

Aコース 公演チケット1組2名様

対象公演: シエナ・ウインド・オーケストラ演奏会
11月24日(日) 15:30開演

Bコース レストラン「ロゼテラス」お食事券(1,000円分) 2名様

■応募方法: はがきに住所・氏名・年齢・性別・電話番号・希望プレゼントを明記し、下記アンケートにご回答のうえご応募ください。

- ① 情報誌を入手した方法または場所
- ② 情報誌で面白かった内容、ページ
- ③ 情報誌またはロゼシアターへのご意見・ご感想

■宛先: 〒416-0953 富士市夢原町1750番地
ロゼシアター「情報誌ロゼ129号」プレゼント係

■締切: 10月28日(月)必着

※当選はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。
※ご応募はおひとり様1件まで(重複がある場合はすべて無効)

レストラン「ロゼテラス」

4月から新メニュー登場! スープ・サラダ付



- ビーフシチューのオムライス 1,780円
- 炭火焼鳥と彩り野菜のオムライス 1,550円
- ツナと木の子の和風パスタ 1,430円
- アスパラとベーコンのアラビアータ 1,450円
- なすとモッツアレラのポロネーゼ 1,480円

◆営業時間 11:00~15:00(ラストオーダー14:30)

◆場所 2階レストラン(ロゼテラス)

◆お問合せ ロゼテラス TEL 0545-60-2727

※当面の間は月曜休店・ランチ営業のみ。
詳細は「ロゼテラス」ホームページをご覧ください。



休館日のお知らせ

10月7日(月)
11月11日(月)・12日(火)
12月9日(月)
12月28日(土)12:00~1月3日(金)

編集後記

静岡へ劇団四季の『キャッツ』を観に行きました!歌・ダンスもさることながら、舞台セットも凄かったです。11月に行われるロゼシアター公演でのセットはリアルさを追求したエルサレムの荒野。キャッツとはまたガラッと雰囲気が変わるであろう「ジーザス・クライスト=スーパースター」に期待が高まります。(松)

本誌は8月15日現在の情報です。最新情報はロゼシアターホームページ等でご確認ください。

■ホームページ <https://rose-theatre.jp> ■X「ロゼシアター公式アカウント」@rose_staff_fuji ■YouTube「ロゼシアターチャンネル」 ■LINE ロゼシアター【イベント】

FLASH BACK 2024.6~7

終了したロゼシアター主催・共催事業の様子をお届けします!2024年6月~7月をフラッシュバック!!

中学生招待コンサート 6月6日(木) 10:00/14:00開演

- プログラムの構成がたいへん良く、生徒たちの楽しそうな様子に感動しました。(70歳以上 女性)
- 1時間、中身の濃いコンサートでした。(70歳以上 男性)
- ティコティコの手拍子で会場が1つになり音楽の楽しさを感じられた。(40代 女性)
- この値段で本格的なオーケストラを聞けるのはとても嬉しい。(60代 女性)



小学生招待コンサート 6月27日(木) 10:00/14:00開演

- 子供達が参加型で楽しく過ごしている姿を見て良かったです。(40代 女性)
- オーケストラと歌う小学生の歌声に感動しました。大きな声で気持ちよかったです。(70歳以上 女性)
- 小学生と一緒に、いつもとは違った鑑賞ができました。新鮮で元気なパワーを感じながらのコンサートでした。(60代 女性)
- 威風堂々と手拍子に泣きました!!(40代 男性)



ジェイコブ・コーラー 6月8日(土) 19:00開演

- 知っている曲ばかりで嬉しかったです。耳心地良かったです。(小学生以下 男性)
- 知っている曲がジャズのアレンジで初めて聞く曲のように聞けたし、ノリノリで一緒に楽しめました。(50代 女性)
- 知らない曲とても楽しんで聞きました。ライトの演出もとても感動しました。(高校生 女性)
- 富士五湖がとても素晴らしい。(60代 男性)



反田恭平(ピアノ)× A.オッテンザマー(指揮) バーゼル室内管弦楽団 日本ツアー2024

6月30日(日) 15:00開演

ロゼこどもコンサート 7月20日(土) 10:30/13:00開演

- 1才の子供も楽しめてました。コンサートデビューして良かったです。(30代 女性)
- 知っている曲、参加できる曲が多とても楽しめました。(30代 男性)
- 子どもと音楽に触れる良い機会でした。(40代 男性)
- コンサートへの参加ハードルが下がりました。(20代 女性)



ホール探検隊 小学生の部: 7月30日(火) 14:00 7月31日(水) 10:00/14:00 中学生以上の部: 7月30日(火) 19:00

- 普段見ることができないところに行けて楽しかった。(小学生 女性)
- 実際に触って体験できた。舞台のスタッフになっている気分になった。(小学生 男性)
- 舞台の裏側を見て舞台・音響・照明・スタッフが催事の成功に欠かせない存在だと感じた。(40代 女性)



ふじ寄席 春風亭一之輔・桂宮治 二人会 7月22日(月) 19:00開演

- はじめて生でみました。演技の参考になりました。とても面白かったです。また見たいと思いました。(高校生 女性)
- 本物に触れることができ感動です。ありがとうございました。(50代 女性)
- テレビ以上の迫力ある落語が聞けて満足です。(60代 男性)
- とても有効な楽しい2時間でした。心が明るくなりました。(70代 男性)

